ガーナでそろばんプロジェクト 103 号（2022 年 12 月 02 日）

★★支援してくださる企業さまや個人の方がいるから続けられる活動★★

ガーナはここ数か月で恐ろしいくらいのインフレになっていて、日々、物価が高騰するなかで、政府は輸入に対してドル払いができないためにガーナの資源である金で支払いを考えているちいうニュースや、経済が崩壊してしてしまったスリランカのようになるというニュースがあり、ローカルで暮らす外貨の手に入らないガーナ人は生活が圧迫される一方だなと思ってしまうのです。時を同じくして、最近、インスタグラムで JOCV の小学校隊員や青少年活動をされている方にフォローされるようになり、活動に対して知ってもらうのに、スプートニクのホームページはもちろん、またインスタグラムの過去投稿を見てもらうと、工作や手芸、読み聞かせ、そしてそろばんの事をより一層知ってもらえるので紹介する中で、蒲田にあるアバカススタジオの黄俊豪先生と弟の俊彦先生の YouTube に出演している動画が、活動資金についての話しやガーナ生活、またどうしてガーナでそろばんの指導を始めたのか?を話しているものなので、この YouTube 動画もあわせて紹介しました。数年前も「なぜ?ガーナでは手に入らないもので工作指導するのか?」「いろいろと出来るお金があってうらやましい」という声を戴いた事があります。潤沢に活動資金があるわけでなく、活動を支援してくださっている企業様があって活動が出来ていることをまだまだ知らない人の方が多いのだなと気づかされる事案です。この『こう先生とともしひこ先生のそろばんチャンネル』の中でも、外貨が手に入らないローカルに暮らすガーナ人の生活はずっと昔のまま変わらないと話していました。2019 年の一時帰国した夏の撮影です。誰しもが世界中がコロナで何年も苦しめられるとは思っていなかったし、またこうしてガーナが経済破綻が危ぶまれるようになるとは私自身思いもしませんでした。先日、大家さんに支払う毎月の管理費を支払いに行った時の事です。異常なほどに物価高騰しているので管理費も数か月前に上がったばかりだけれど値上がりしても仕方がないという覚悟で行ったところ、数か月前に上がった金額のまま現状維持の額でした。有難いことです。大家さんはこの異常なインフレを平常心で見ているようでした。

さて、前置きがたいへん長くなってしまいましたが、5年生でのそろばん授業では一人一人がそろばんを使って数を置く授業をしました。十二月は私の持ち授業は終わってたので次回は新年度になる一月になります。数カードで作る「近い数」もだいぶ理解してきて大半の生徒が「数を楽しむ」事が出来ているようです。6年生になってもそろばんと「数を楽しむ」授業を取り入れていきます。

報告　TOSHIKO

協賛　トモエそろばん様

YouTube でも子どもの言葉「十がわかったよ。」の話しをしています。